

第4章 計画の推進・実現に向けて

1 計画の実現に向けた方針

本計画は、中心市街地におけるまちづくりの方向性を定めたものであり、今後は以下の方針に基づいて個別の事業等を進めることにより、まちづくりを推進していきます。

●市民・商店・来訪者のまちづくりへの参画や担い手育成

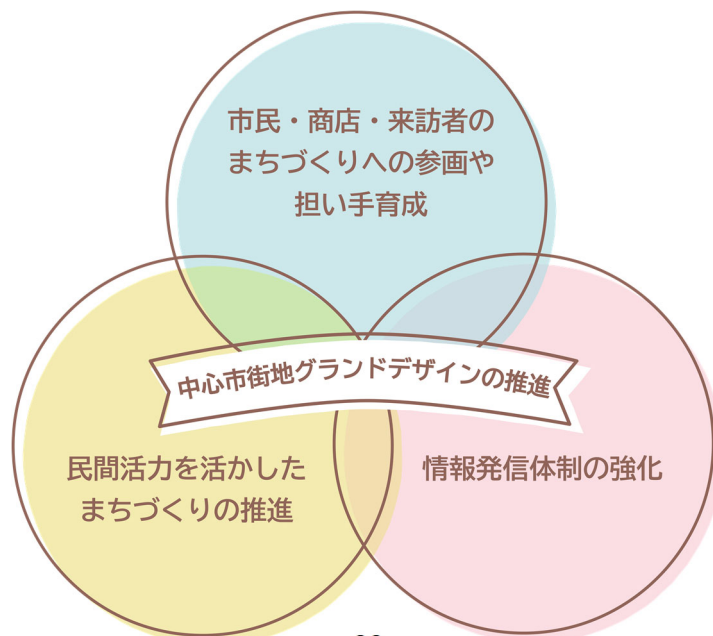
中心市街地には、様々な年代、立場や価値観を持った人たちが暮らしています。地域に関わる人、一人ひとりが暮らすまちに関心をよせ、愛着を持ち、まちづくりの主役であるという認識のもと、率先してまちづくり活動に参画するよう促すとともに、地域協議会などと連携しながらまちづくりを推進します。また、中心市街地のまちづくりに携わる人を地域住民に限らず広く育成し、中心市街地のまちづくり活動やにぎわいの活性化を目指します。

●民間活力を活かしたまちづくりの推進

道路や公園などの公共空間を地域資源の一つと捉え、積極的に活用していくことにより、まちのにぎわいの創出や交流を促進することが重要です。このため、効率的かつ効果的なまちづくりの推進に向けて、公共空間を活用した民間主体の活動や取組の促進、民間の資金やノウハウの活用についても検討していきます。

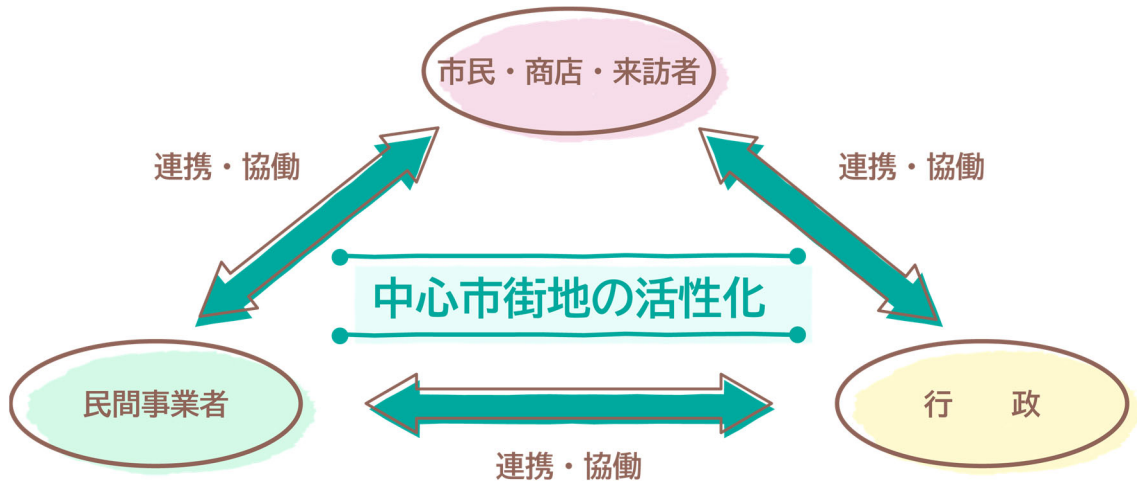
●情報発信体制の強化

中心市街地にある地域資源やまちづくり活動について、様々な媒体を用いて積極的に情報発信する体制を強化し、地域の認知度を高めるとともに住民の愛着醸成につなげます。



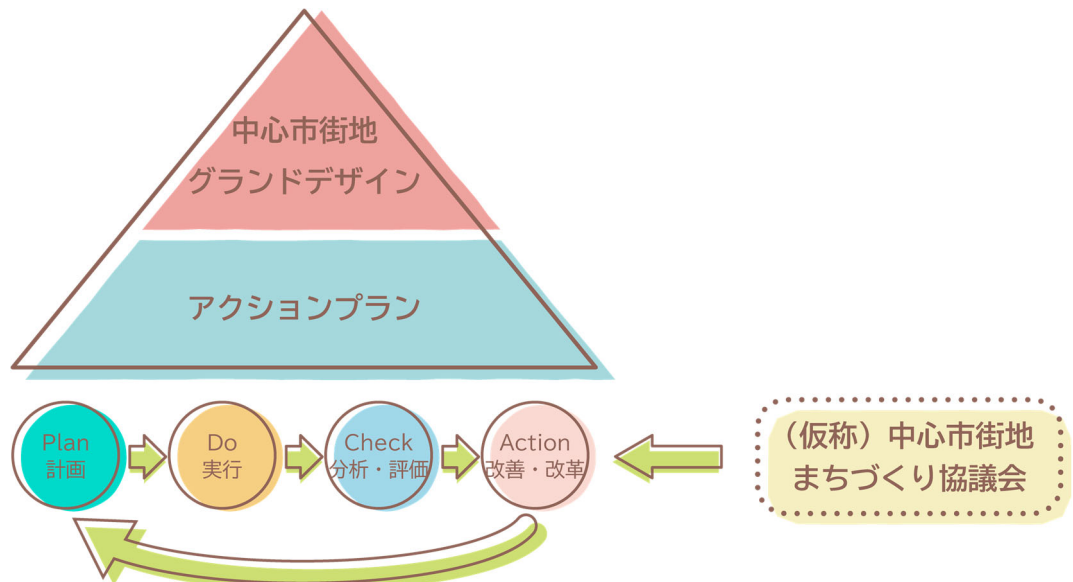
2 計画の推進体制

将来にわたって魅力と活力の続く中心市街地を形成するためには、行政だけでなく、様々な活動主体やまちづくりの担い手の参加が必要になります。市民・商店・来訪者、民間事業者、行政が中心市街地の目指す姿を共有し、それぞれの役割を明確にしたうえで、連携・協働して課題を解決していくための体制・環境を整えます。






3 計画の進捗管理

計画の推進のためには、各施策の実施状況について定期的に点検・評価を行い、その結果を事業実施に反映させていくことが重要です。本計画の施策に基づく事業の実施計画をアクションプランとして示し、行政内部の関係部署による継続的な連携体制を構築して Plan（計画）- Do（実行）- Check（分析・評価）- Act（改善・改革）のプロセスを踏まえた「PDCA サイクル」により計画の進捗管理と事業の改善を行い、住民や商店、関係団体等から成る組織「(仮称) 中心市街地まちづくり協議会」の設置を検討するなどして、当事者の目線に立ったチェック体制の構築を目指します。



また、本計画の進捗状況や効果を把握するため、3つの目指す姿ごとに指標及び目指す方向を設定し、PDCA サイクルに基づく事業進捗等の確認の際に指標の状況を確認します。

目指すまちの姿	指標	基準値	目指す方向
訪れたいまち	中心市街地の来訪者数	—※2	
住みたいまち	中心市街地周辺※1 の居住者数	—※2	
活力があるまち	中心市街地の歩行者・ 自転車通行量	—※2	

※1：小牧駅から半径約1.5km 圏内の居住者数
 ※2：基準値は令和3年度の実績とする

事業の実施状況については毎年策定するアクションプランで進捗管理するとともに、指標の値を定期的に把握することで事業の効果を検証し、計画の見直しを実施していきます。

